

1 学年 地域探究①

5月1日（水）に、1学年の生徒が五泉市村松郷土資料館と民具資料館を見学し、地域探究学習を行いました。村松高校を出発し、歩いて20分ほどで五泉市村松郷土資料館に到着しました。そこで、五泉市生涯学習課の山崎天様と猪俣暁広様から展示資料について説明していただきながら、見学をしました。

見学前の生徒の「村松」のイメージは、桜がきれい、自然が豊か、農作物が豊富、公園が広い、鹿がいるなどでしたが、見学を終えて、イメージとは異なる村松の歴史や地理、産業等を知ることができました。

始めに五泉市村松郷土資料館で山崎様から、町の人は村松高校を誇りに思っている人が多く、協力をしてくれる伝統があることや村松高校出身の漫画家や五泉出身の漫画家の方がいること、156年前までお城があり、村松藩三万石の城下町であったことや城下町の3つの役割についてなどお話をいただきました。

続いて猪俣様から、かつて五泉-村松-加茂を結び人と物を運んだ蒲原鉄道について、五泉市出身の漫画家夏海ケイさんの原画についてお話をいただいた後、民具資料館に移動し、人々が日常生活の中で必要になって作った道具について、それぞれ現在も姿や形を変えずに使われているもの、姿や形を変えて使われているもの、役割を終えて姿を消したものについて紹介していただきました。

生徒たちは、メモをとりながら真剣に学習に取り組みました。今後、各自興味を持ったことをもとに、地域探究学習を深めていきたいと思います。





〈生徒の感想〉

- 城下町の道が、道幅が同じではなく、最初は広がったのに、通るうちに狭くなるのはすごいと思いました。
- 江戸時代から、「村松」というところがあったのと、昔から使われ続けているものがあることに興味を持ちました。
- 村松の伝統をもっと知りたくなりました。
- 村松の城を見てみたくになりました。ジオラマの模型は素晴らしかったです。
- 村松に城があったというのは、自分で調べたくになりました。
- お城の他にも昔は何があったのか調べてみたいと思いました。
- 昔の村松藩の町をじっくり見たいと思いました。
- 村松高校の門のレンガの積み方は何か興味を持ちました。
- かなり時間が経っているけれども、昔の城下町の形が残っており、文化も多く続いていることに気づきました。